

1 班 「地区・市町P連の組織運営について」

- ・市P連事務局に校長経験者や、本部役員に役所関係の人がいると、市・学校・P連の情報が共有しやすい
- ・輪番制のメリット・デメリット → 情報の共有が大切 →連合会がその役割
- ・輪番の良し悪しはある
- ・輪番制だが、学校によっては役員数が少なく行政や組織の運営に苦しむ場合がある
- ・輪番制のデメリットとしては、単PとP連が重なり負担が増える
- ・会議が4月と5月に集中しているので、少なくした
- ・P連としては仲良くやれているが、学校ごとの課題が違っているので、まとめるのが難しい
- ・おやじの会とPTA→Pに協力をしている
- ・秩父市は変わり、新しい体制になる
- ・単会の副会長ですが、発言権が薄れる。他の会長と連携が取りづらい。
- ・連合会長が1年交代なので、何もできない。
- ・輪番だと事業改革ができない。
- ・町内5校なので、輪番でも協力的。
- ・協力体制が整っていると、会長をやりやすい
- ・単会の会長でなくても、P連会長でもいいのではないかと

※輪番制で毎年代わっていくと、地区P連も衰退していくのではないかと・・・。